

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年12月16日(2021.12.16)

【公表番号】特表2021-502858(P2021-502858A)

【公表日】令和3年2月4日(2021.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2021-005

【出願番号】特願2020-526537(P2020-526537)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/94 (2006.01)

A 6 1 B 17/28 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/94

A 6 1 B 17/28

【手続補正書】

【提出日】令和3年11月4日(2021.11.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項17

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項17】

前記コネクタは、遠位部分と近位部分とを有し、

前記遠位部分は、第1の脚部と第2の脚部とに長手方向に分割され、

前記第1および第2の脚部が近位部分に柔軟に接続され、

前記第1の脚部には、前記第1のベースコンポーネントの近位部分に接続された遠位端が設けられ、

前記第2の脚部には、それぞれ、前記第2のベースコンポーネントの近位部分に接続された遠位端設けられている、請求項16に記載の内視鏡デバイス。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項18

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項18】

前記第1および第2の脚部は、閉鎖位置と開放位置との間で移動可能であり、

前記第1および第2の脚部の前記閉鎖位置への移動によって、前記第1のベースコンポーネントの前記第1のベースコネクタと、前記第2のベースコンポーネントの前記第2のベースコネクタと、が、前記第1および第2のベースコンポーネントが中空内部を有する円筒シャフトを形成するように接続される、請求項17に記載の内視鏡デバイス。